

## NEWS RELEASE

2022年5月12日  
日本板硝子株式会社

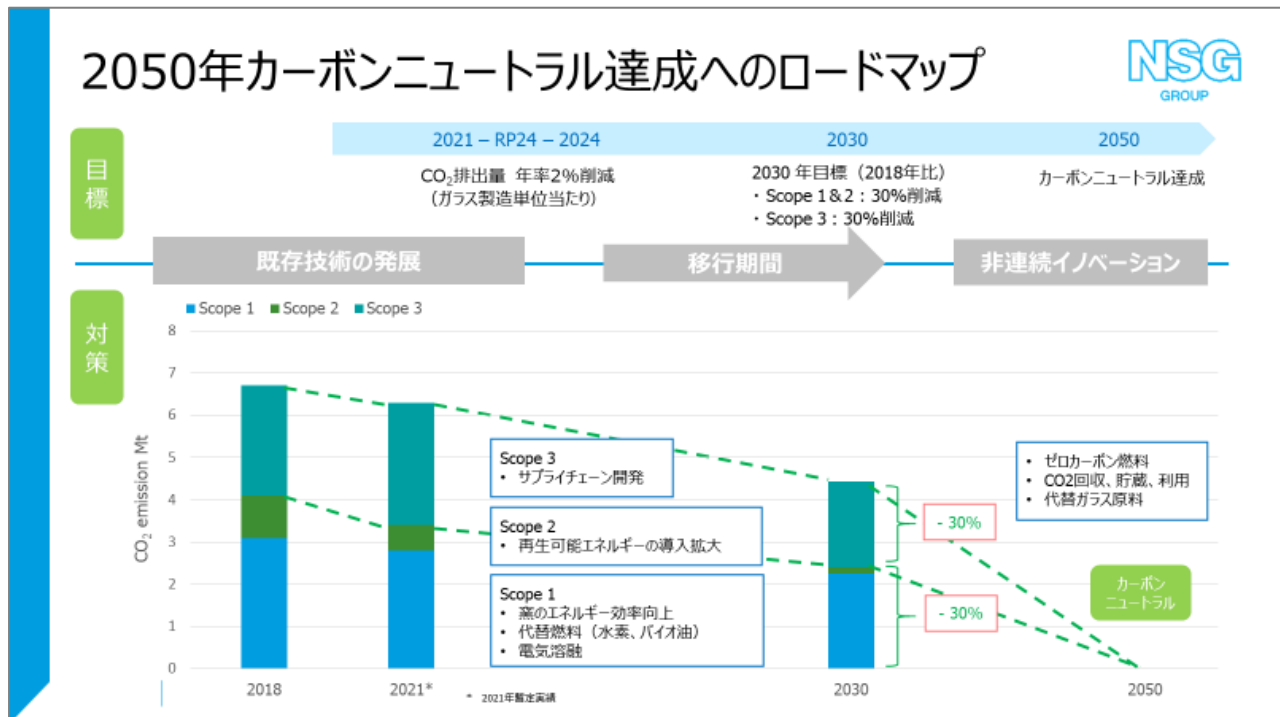
### 2030年までのCO<sub>2</sub>削減目標を引き上げ、2050年のカーボンニュートラル達成を宣言

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森 重樹、以下「NSG」）は、今般、2030年までのCO<sub>2</sub>の排出削減目標を2018年対比30%に引き上げた上で、2050年までのカーボンニュートラル達成にコミットし、この実現を目指すこととしましたのでお知らせします。

現在、日本を含む140カ国以上の国々が2050年までのカーボンニュートラル目標を設定し、気候変動対策は今や人類共通の課題となりました。ガラス製造業であるNSGグループにおいても、これらの環境問題への取り組みは最重要課題の一つです。当社グループでは既に、2030年までに温室効果ガスの排出量（スコープ1およびスコープ2）を2018年対比で21%削減する目標が、2019年10月に「科学的根拠に基づいた目標」であるとしてSBTiイニシアティブ（SBTi\*）に認定され、これに沿った施策を進めてきました。合わせて、2024年までの毎年、ガラス生産単位当たりのCO<sub>2</sub>排出量を2%削減する目標に取り組んできました。

今般NSGグループは、2050年までのカーボンニュートラル達成を、社会の一員として当然にコミットすべき目標として認識すると同時に、この達成に向けてより重要となる2030年までのCO<sub>2</sub>排出削減目標を従来の21%から30%に引き上げ、より具体的かつ実現可能な追加施策を設定することとしました。

	スコープ 1+2 (直接+間接排出)	スコープ 3 (サプライチェーン排出)	カーボンニュートラル
新目標	<b>30%の削減</b> 目標年：2030年 基準年：2018年 (SBTi 認証取得予定)	<b>30%の削減</b> 目標年：2030年 基準年：2018年 (SBTi 認証取得予定)	<b>達成をコミット</b> 目標年：2050年
従来目標	<b>21%の削減</b> 目標年：2030年 基準年：2018年 (SBTi 認証取得済)	(内部目標のみ設定)	達成に向けた より具体的な道筋を 早期に提示



NSGグループでは、2030年の新しい削減目標および2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、主に以下の施策を進めます。

1) 2030年の目標達成に向けて

<b>スコープ 1</b> (直接排出)	窯のエネルギー効率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 窯の定期修繕時の設計変更により、エネルギー効率の最適化技術を導入</li> <li>● 高度なデータ分析やAI技術を活用して窯の操業をデジタル化し、エネルギー効率を最大化</li> <li>● カレット（再利用ガラス）の使用比率を拡大</li> </ul>
	代替燃料の活用	水素やバイオ燃料などの非化石燃料の割合を増加
	電気溶融の拡大	2030年までは小規模での導入を進め、2050年に向けて導入規模を拡大
<b>スコープ 2</b> (間接排出)	再生可能エネルギーの導入拡大	PPA（Power Purchase Agreement：電力販売契約）や自社敷地内での発電などを推進し、2050年までに再生可能エネルギーの使用割合を100%化
<b>スコープ 3</b> (サプライチェーン排出)	サプライチェーン開発の推進	取引先と協力し、バリューチェーン全体でCO <sub>2</sub> 排出量を削減

2) 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて

上記の対策に加えて、水素などのゼロカーボン燃料の100%化、CO<sub>2</sub>の回収・貯蔵・利用、代替ガラス原料の使用など、非連続イノベーションを通じた新技術の開発、展開を進めます。

以上



### **\*2030年のCO<sub>2</sub>排出量削減目標について**

現在、SBT (Science Based Targets) イニシアティブから認証を受けている2030年のCO<sub>2</sub>排出量削減目標(2018年比)は、スコープ1と2の合計で21%です。今回更新した30削減%の目標については、現在SBTイニシアティブに申請中です。

### **NSGグループ(日本板硝子株式会社およびそのグループ会社)について**

NSGグループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。

建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズや、タイミングベルトの補強材であるグラスコードやガラスフレークを中心とする特殊ガラス繊維です。<https://www.nsg.co.jp>

### **<お問い合わせ>**

(報道関係等) 広報部 Tel : 03-5443-0100